



F220329JVA085(3118x4000)
JVA086 KCJ31-1 (P)
①「ロシアトヨタ戦記」

JVA085 KCJ3...77行
「書評④」(写真1)
◎大国の来し方、行く末
|| 「ロシアトヨタ戦記」 ||

西谷公明著

「失敗したって、たか 未知の大国を巡り、文ループル危機、リーマンが知れとりまずよ」。ト 化や考え方の違いを乗り、・ショック、クリミア併 ヨタ自動車元会長の奥田 越えて現地法人と工場を 合による経済制裁などの 碩氏が、ロシア進出を危 設立、欧米メーカーと伍 荒波にもまれた。豊富な ぶむ社内声に対し、破 (二) してトヨタブラン 資源の力で立て直しても 顔一笑で述べた言葉だとド確立へと奔走する著者、最大の武器が最大の弱 いう。金融系シンクタンク。時にユーモアを交え、 点にもなり、原油価格の 弱クから同社にヘッドハン 書名の「戦記」にふさわ 変動と共に国の経済も浮 トされた著者が「粗野で しく、戦国時代の武将の 変動と共に国の経済も浮 不条理に満ちていた」当 ような獅子奮迅の働きが 著者はまた、単一産業 時のロシアへ、販売拠点 りが語られる。ロシアは1998年の 変動と共に国の経済も浮 網づくりで派遣される。ロシアは1998年の 変動と共に国の経済も浮

をロシア経済の特徴としないことを願うばかりだ 指摘する。その硬直性。 (沖村悟・ジャーナリス が世界経済の波に直撃さ れてしまつ。旧ソ連時代 からの続く負の遺産だ。 (中央公論新社・242 プーチン大統領は、民 0円) (ア) 間石油会社ユーコス为国 営化などで強権を振るい にしたに、ともあき11 。著者は「自由市場資本 主義に同調することをや、 長銀総合研究所を経て 953年、愛知県生まれ 主義に同調することをや、 在ウクライナ日本大使 館専門調査員。99年にト たらす利益と一体になつ ヨタ自動車入社、200 4年から09年までロシア と思つ」と述べる。 2004年から5年間 Rアソシエイツ代表。著 、著者が社長を務めたト 書に「通貨誕生ーウクラ ヨタのロシア現地法人は イナ独立を賭けた闘い」 販売台数が20万台を超 など。 奥田碩(おくだ・ひろし えたが、リーマン・ショ ャックで大打撃を受けた。 おきむら・さとる そんな経験を持つ彼も、 中央集権で半は独裁政権 と化したプーチン大統領 がウクライナを侵攻し、 世界を敵に回すことにな るとは思わなかつたであ っただろう。 リスクの大きい事業を 進めた、奥田氏と著者は シベリア鉄道の旅でロシ アの来し方、行く末を語 り合つ。著者が抱く深い 敬愛がにじむ。彼ら企業 人の夢が戦争で幻になら